

<%Name%> 様

ecotranからのお知らせです。
過去のお知らせは以下でご覧いただけます。
<https://ecotran.or.jp/act/info/info.html>

☆セミナー・トレイン終了しました

一般社団法人交通環境整備ネットワーク主催のセミナー・トレイン「路面電車のある街・豊橋」は高好評裏に終了いたしました。
当日の様子は、以下でご覧いただけます。
<https://ecotran.or.jp/act/190309/190309.html>

☆制度財源検討会 第1回が開催されます

NPO/エコエネルギーによる地域交通システム推進協会・人と環境にやさしい交通をめざす協議会主催の制度財源検討会が開催されます。

(以下趣旨)
地域公共交通活性化及び再生法(2007年)の成立後10年超経過し、また、交通政策基本法(2013)からも相当経過しています。しかしながら、地域の公共交通は充実するどころか衰退が問題となっています。
交通分野だけの充実に向けての問題、課題の指摘のみならず、人口減少や新技術の台頭を見据えた新たな方策を考えなくてはならないようになりました。
そこで、これまで20回開催したフォーラム「交通政策基本法の展開」による課題点検の活動をここで終了し、地域公共交通に焦点を絞り、それを支える制度について、それぞれの立場にとらわれず広く議論し、政策提言できる新しい検討会を立ち上げます。
具体的には、大都市圏縁辺部及び地方都市の地域公共交通サービスに焦点を当て、民間の自由競争と独立採算を基本とする日本の常識(世界の非常識)を制度的に見直すことを目標とします。それには、単に独立採算制を議論するだけではなく、運輸連合(独語圏)、総合交通局(英国)等の合意形成方策を含めた方策を手本にした日本型の解決法を検討するべきと考えます。そのため、皆様に「制度財源検討会」の開催を呼びかけ、奮ってご参加をお願いしたいと思えます。第1回は、以下のとおり開催します。

○期 日：2019年3月22日(金) 18時30分より

○場 所：中央大学駿河台記念館 570教室

<http://www.chuo-u.ac.jp/campusmap/surugadai/>

○参加費：1,000円(資料代)

○講師：関西大学教授 宇都宮 浄人 氏

題目 「地域公共交通の制度改革の方向～欧州から学べることを学べないこと」

参加申込みは、人と環境にやさしい交通をめざす協議会 小田部明人様へメールを

申込先 ⇒ a.kotabe@k8.dion.ne.jp

☆第128回運輸政策コロキウムが開催されます

一般財団法人運輸総合研究所が主催する第128回運輸政策コロキウムが開催されます。

○日 時：2019年4月2日(火) 18:00～20:00(開場17:30)

※軽食をご用意いたします。

○会 場：運輸総合研究所 2階 大会議室(日比谷線神谷町駅徒歩1分)

<http://www.jterc.or.jp/access.html>

○参加費：1,000円

(お申し込みは、3月28日(木)までをお願い致します。)

○テ ー マ：「バス・タクシー分野における自動運転車の運行管理、安全性に対する利用者意識」

講 師：安部 遼祐 (運輸総合研究所研究員)

コメンテータ：谷口 守 (筑波大学大学院システム情報系社会工学域教授)

概 要：

我が国では2020年頃からの自動運転車を用いたサービスの実用化を目指して実証実験が実施される中、自動運転車の遠隔監視システムの開発も行われている。

2018年に策定された「自動運転車の安全技術ガイドライン」では同サービスの運行管理の要件等

が定められた。

バス・タクシー分野の自動運転車における運行の安全確保は今後より重要な問題となる。例えば、事業者においては、安全のための監視コストの増大は自動運転車導入の障壁になる。一方、利用者においては、運行が遠隔監視され、乗務員のいないバス・タクシーへの乗車に対して抵抗感を持つ可能性がある。こうした中、安全性に対する利用者意識の現状を把握し、今後利用者の理解を得ていくことも必要とされる。

本講演では、バス・タクシー分野での自動運転車の運行管理手法に着目し、運行の安全確保のあり方が自動運転車の利用意向へ与える影響について報告する。併せて、バス・タクシー分野での自動運転車の実態や将来的な運行コスト、交通システムへの影響にも触れる。

申込み：以下のURLからお申し込みください。

<https://krs.bz/jterc/m/128collo>

☆第119回「交通ビジネス塾」が開催されます

株式会社ライトレール主催の第119回「交通ビジネス塾」が開催されます。

- 日 時：2019年4月8日(月) 18:40～(5分前までに集合下さい)
- 場 所：IKE・Bizとしま産業振興プラザ 6階 第2会議室(池袋駅西口徒歩7分)
- 参加費：社会人3,000円、学生1,000円、懇親会1,000円(希望者)
- テーマ：鉄道における状態監視の現状と展望

講師：日本大学 生産工学部 機械工学科 教授 綱島 均(つなしま・ひとし)氏
申込み等詳しくは、<http://light-rail.blog.jp/archives/1074193461.html>

☆「第60回運輸政策セミナー」が開催されます

一般財団法人運輸総合研究所が主催する「第60回運輸政策セミナー」が開催されます。

- 日 時：2019年 4月15日(月) 18:00～20:00(開場17:30)
※軽食をご用意いたします。
- 会 場：運輸総合研究所 2階 大会議室(神谷町駅徒歩1分)
<http://www.jterc.or.jp/access.html>
- 参加費：1,000円
(お申込みは、4月10日(水)までをお願い致します。)
- テ ー マ：進みつつあるモビリティの革新～国内外のMaaS先進事例より～
 1. 日本のMaaSの展開と課題
講師 松本 順(株)みちのりホールディングス代表取締役グループ CEO
 2. 先行する欧州におけるMaaSの動向に関する調査結果(中間報告)の概要
講師 藤崎 耕一 国土交通省国土交通政策研究所副所長

概 要：

1. 日本のMaaSの展開と課題
フィンランドのWhimに代表されるMaaSアプリを使った移動サービスが世界中で広がりを見せる中、日本でも遅ればせながらMaaSの名の下でいくつかのサービスが立ち上がりつつあります。複数の交通手段をシームレスに、検索から予約、決済まで提供できるプラットフォームは、利用者の利便性を高め、交通事業者にとっても、これまで取り込めていなかった潜在的な需要を掘り起こす変革点になると考えられます。さらにMaaSは、自動運転やコネクテッドのような新しい技術を取り込むことで、より本格的なモビリティサービスへと発展することが期待されます。

しかし一方で、交通事業者がMaaSへ対応するためには、自社データのデジタル化やモードを超えた事業者間の連携が求められます。熱を帯びる日本のMaaSに関して現状を解説し、課題を共有します。

2. 先行する欧州におけるMaaSの動向に関する調査結果(中間報告)の概要

国土交通政策研究所(PRI)において、MaaSについて、訪日外客を含めた利用者ニーズへの対応、移動制約者のアクセシビリティの改善、災害等緊急時の代替ルート提案等新たな移動サービスの実現に向けた取組みの参考となる基礎的資料の作成のため、2018年度から2年間計画で、内外の動向、促進方策のあり方や課題等について調査研究を始めました。今般、同研究所担当チームの代表より、民と官の取組みが先行する欧州の動向に焦点を当て、フィンランド、スウェーデン、イギリス及びドイツの調査結果について、EUの政策環境にも触れつつ、最初の報告を行います。

申込み：以下のURLからお申し込みください。

<https://krs.bz/jterc/m/60semi>

☆第329回 鉄道総研月例発表会」が開催されます

鉄道総合技術研究所が主催する第329回 鉄道総研月例発表会が開催されます。

○日 時：2019年04月17日（水） 13:30～17:00
○場 所：東京 日本工業倶楽部 大会堂
○主 題：軌道技術に関する最近の研究開発
申込み等詳しくは、<https://www.rtri.or.jp/events/getsurei/2019/mr329.html>

☆鉄道関係等諸情報をお送りします

○交通まちづくりと地域再生（1）無秩序な郊外化進む地方
日経新聞コラム「やさしい経済学」宇都宮浄人関西大学教授以下同じ
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ042033470V00C19A3SHE000/>

○交通まちづくりと地域再生（2）市民参加型のアプローチ
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ042086920W9A300C1SHE000/>

○交通まちづくりと地域再生（3）車依存に多くの問題
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ042133800X00C19A3SHE000/>

○交通まちづくりと地域再生（4）コンパクトシティは道半ば
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ042187400Y9A300C1SHE000/>

○交通まちづくりと地域再生（5）欧州各国、公共交通を復活
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ042288540R10C19A3SHE000/>

○交通まちづくりと地域再生（6）MaaS普及の障害に
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ042337490S9A310C1SHE000/>

○交通まちづくりと地域再生（7）公民の役割分担で活性化
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ042393440T10C19A3SHE000/>

○交通まちづくりと地域再生（8）中心部への車進入を規制
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ042439220U9A310C1SHE000/>

○交通まちづくりと地域再生（9）費用便益分析には限界も
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ042502750V10C19A3SHE000/>

○JR東日本、京急、リムジンバス…羽田空港アクセスを巡る熱い戦い
https://diamond.jp/articles/-/195705?utm_source=daily&utm_medium=email&utm_campaign=doleditor

○ANAとJAL、飲酒問題もどこ吹く風？業績絶好調で路線網拡大へ
<https://diamond.jp/articles/-/195678>

○JR東日本が「ワンマン列車」を拡大する事情
<https://newswitch.jp/p/16738>

○あれから8年、三陸鉄道社長が復活の青写真を語る
https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00005/030700008/?n_cid=nbpnb_mled_mpu

○明知鉄道と日本郵便、配達で協力 貨客混載の運用開始
<https://www.gifu-np.co.jp/news/20190317/20190317-122511.html>

○のと鉄道「のと里山里海号」は和倉温泉のアトラクション
<https://bunshun.jp/articles/-/11087>

○上諏訪駅の今昔 諏訪市博物館で鉄道企画展
<http://www.nagano-np.co.jp/articles/45625>

○鉄道会社が初の「PayPay」導入―湘南モノレールが定期券などで
<https://japan.cnet.com/article/35134218/>

○NHK近田雄一アナ「鉄道知識を活かす」
<https://www.lmaga.jp/news/2019/03/62404/>

○東京の鉄道路線に欠けているものは、何か
<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/1903/14/news019.html>

○三陸鉄道リアス線開業に伴う上限運賃が認可…163kmまで設定、最長で3710円 3月23日から適用

<https://response.jp/article/2019/03/13/320097.html>

○「専用走行空間は可能」 新交通で市長、見通し示す

<https://www.chunichi.co.jp/article/ishikawa/20190314/CK2019031402000027.html>

○伊賀鉄道も対象に 重度障害者の移動手段 4月から伊賀市が助成

<https://www.iga-younet.co.jp/2019/03/12/13334/>

○東日本大震災8年、鉄道網はどこまで機能回復したか

<https://newswitch.jp/p/16818>

○【黄門かわら版】鉄道地図は変わったが…

<https://www.sankei.com/region/news/190318/rgn1903180017-n1.html>

○五輪期間、終電繰り下げへ 鉄道各社、観客の足確保

<https://www.sankei.com/tokyo2020/news/190315/tko1903150002-n1.html>

○国交省、交通サービス連携へ提言 次世代交通体系 日本版確立へ

<https://www.sankei.com/economy/news/190314/ecn1903140040-n1.html>

○LCC+JRなら特典、割引 道北、道東の30施設対象 鉄道活性化協議会

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/284042/>

○信楽高原鉄道事故遺族ら設立「鉄道安全推進会議」解散へ

<https://www.kyoto-np.co.jp/shiga/article/20190307000048>

○(JR東日本ニュース) 鉄道セキュリティ向上の取組みについて

<https://www.jreast.co.jp/press/2018/20190304.pdf>